

インプレス グループ (株式会社インプレスホールディングス)



業務に適したコミュニケーション手段を提供 利便性を損なわずにセキュリティ強化も実現



製品 & サービス

- Cisco Business Edition 6000
- Cisco Unified IP Phone 7800 シリーズ
- Cisco Aironet 3700 シリーズ
アクセス ポイント
- Cisco Prime Infrastructure (PI)
- Cisco Identity Services Engine (ISE)

課題

- グループ全社のオフィス移転（拠点統合）に伴うネットワークの見直しを検討
- 業務の内容に即した適材適所のコミュニケーション手段を提供
- ワイヤレス LAN の強化とアクセス時のセキュリティの担保

ソリューション

- 管理部門や営業部門には固定 IP フォンを設置して業務ニーズに対応
- PC にソフトフォンを導入して社外からの内線通話を可能に
- 有線 LAN と無線 LAN の統合管理と見える化で運用効率を向上
- セキュリティ認証をシンプル化して利便性と安全性を高水準で両立

結果～今後

- 在宅や社外などさまざまな場所で安全に業務を行える環境の整備を継続

インプレス グループは、IT、音楽、デザイン、山岳自然、モバイル サービスなど専門性の高い分野で、Web や電子出版、雑誌、書籍など重層的なメディア展開を通して情報の発信と提供を行っています。近年は電子出版に力を入れており、また多くの読者に好評を得ている入門書「できるシリーズ」は累計 7,000 万部以上の発行部数を誇ります。

シスコというブランドにはとても安心感があります。グループ全体の ICT 基盤の刷新にあたり、ネットワークと電話、セキュリティを統合したソリューションに大きな魅力を感じて今回の採用となりました。

—— 株式会社インプレスホールディングス 執行役員 有田 健二 氏

インプレス グループは、以前はグループを構成する各社が東京都内に分散していました。相互の連携強化を図り、またオフィス スペースの改善を目的として 2014 年 11 月に全社が 1 つの拠点に集まる形で移転し、事業体制を強化しています。スタッフ全員が同じ場所で働くようになり、コミュニケーションの活性化や意識の変革も促進されています。

課題

オフィス移転を機に、インプレス グループはコミュニケーション基盤の強化と社内ネットワークの刷新を進めることになりました。具体的には、電話システムのリニューアル、PC 用ソフトフォンの導入、ワイヤレス LAN の強化と運用管理性の向上などを行い、利便性と安全性を両立した業務環境を実現しています。

株式会社インプレスホールディングス 執行役員の有田健二氏は、新しいオフィスで目指したことを次のように話します。

「出版社という業態は伝統的な業務の文化を持っていて、書店様や取次様（流通業者）とのやり取りでは電話が多用されます。そこで電話の使い勝手や通話品質を従来と同等以上に保つことは大切な要件となりました。また、世の中の動静としてコミュニケーションの取り方が多様化している中で、編集や制作の担当者や著者やデザイナーとの連絡をはじめ、より生産性を高めていくことも必要と考えていました。出版という事業にはさまざまな人が携わっているので、適材適所のコミュニケーションができる環境を会社として用意したいと考えたのです。

ネットワークの利用については、毎月パスワードを更新して安全性を保つようにしていましたが、ユーザ、管理者とも負担が大きく、使いやすくすることが目標でした。」



株式会社インプレスホールディングス
執行役員
有田 健二 様



株式会社Impress Professional Works
グループ技術部
次長
森島 登 様

今回、インプレス グループでは新しいコミュニケーション基盤としてシスコ ユニファイド コミュニケーションと Cisco Jabber を採用しました。ワイヤレス LAN には Cisco Aironet シリーズ アクセス ポイントと Cisco Prime Infrastructure (PI) を導入し、セキュリティ強化のために認証エンジンである Cisco Identity Services Engine (ISE) も組み合わせています。

有田氏は次のように話します。

「電話システムについては、以前のオフィスも IP 電話だったのでユニファイド コミュニケーションに対する抵抗感は特になかったですね。以前から当社のオフィス（ファシリティ）や ICT 環境の構築をお任せしているベンダーに今回もまとめて依頼することになり、そのベンダーがシスコ ソリューションについて豊富な知見とノウハウを持っていたことも採用の理由に挙げられます。」

電話システム、ネットワークともに
全体を見渡した運用がしやすくなりました。
設定や管理もある程度自分たちで行っています。

ソリューション

それぞれのニーズに応えるコミュニケーション手段を提供

シスコ ユニファイド コミュニケーションは、呼制御サーバの Cisco Business Edition 6000 を中心に構成されるソリューションです。インプレス グループでは Cisco Unified IP Phone のほかに PC 用ソフトフォンとして Cisco Jabber を使い、これらを組み合わせた運用で外線/内線通話の効率化やコスト削減効果を得ていると有田氏は話します。

「通話品質が求められる管理部門や営業部門には固定電話を配置しました。やはり受話器で話したいというニーズは根強いものがあります。電話の転送や、取引先の電話番号をボタン登録して使い分けるといった従来からの使い慣れた操作を求める声も多く、それに応えるように IP 電話機のモデルを選びました。」

新しい環境では、個人のダイヤルイン番号を設定して代表番号と使い分けられるようにしたことも改善点です。」

ワイヤレス LAN の見える化と管理の効率化を促進

新オフィスでは、アクセス端末の増加と多様化に対応する安定したワイヤレス LAN 環境を実現しています。通信状況の把握と管理は Cisco PI で行うことにより、見える化と効率化を果たしています。

株式会社Impress Professional Works グループ技術部 次長の森島登氏は次のように話します。「オフィス内でワイヤレス LAN がつながりにくい場所があるという報告がいくつかありました。調べたところ Bluetooth の干渉や編集部が個別に設置していたアクセス ポイントの影響など原因がわかり、現在は解決策を講じています。この調査と分析で Cisco PI が役に立ちました。オフィスの間取り図と電波状況を重ね合わせたヒートマップ表示はとてもわかりやすく、問題のある箇所を容易に判別できます。全体の状況を見渡しながら、これまでユーザから声が上がらないと把握できなかったことを先に見つけて解決への手立てを打てるのは確かな効果です。」

ユーザ認証を簡素化して利便性と安全性を両立

インプレス グループでは社員のアカウント管理を Active Directory で行っています。そこにアクセス認証とポリシー管理を実現する Cisco ISE を組み合わせて、アクセス手順の簡素化とセキュリティ強度の向上を両立していると森島氏は話します。

「以前のように毎月パスワードを更新する必要もなくなり、社員全員の負担が減りました。セキュリティ リスクを減らすと同時に、リスク回避のために利便性を下げないことをグループ全体の方針としていまして、今回のシステムはそのバランスがうまく取れているのではないかと思います。」

社内各所で快適に利用できるワイヤレス LAN 環境を整備



快適で生産性が高く、安全なオフィスワークを支えるシスコソリューション

ユニファイド コミュニケーション



呼制御サーバ
Cisco Business Edition 6000



固定 IP フォン
Cisco Unified IP Phone 7800 シリーズ

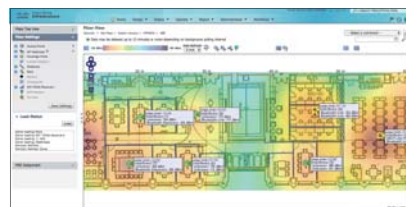


PC 用ソフトフォン
Cisco Jabber

ワイヤレス LAN



アクセス ポイント
Cisco Aironet
3700 シリーズ



有線/無線の統合管理
Cisco Prime Infrastructure (PI)

セキュリティ (認証)



アクセス認証とポリシー管理
Cisco Identity Services Engine (ISE)

結果～今後

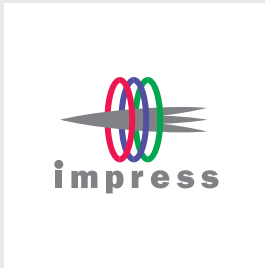
インプレス グループでは普段の業務を自宅や社外で行うケースも多く、セキュリティを担保しながらより自由に業務ができる環境づくりを今後も進めていきます。シスコ ソリューションはその重要な基盤であり、さらなる活用を目指します。

その他の詳細情報

シスコ ユニファイド コミュニケーションの詳細は、www.cisco.com/jp/go/uc を参照してください。
Cisco ワイヤレス LAN ソリューションの詳細は、www.cisco.com/jp/go/wireless を参照してください。

Cisco Identity Services Engine の詳細は、www.cisco.com/jp/go/ise を参照してください。

インプレス グループ (株式会社インプレスホールディングス)



本社所在地 東京都千代田区神田神保町 1-105
神保町三井ビルディング

設立 1992年4月1日

資本金 53億4102万円

業種 情報、通信業

規模 従業員数8名(2016年3月31日現在)
グループ全体491名(2016年3月31日現在)

URL <http://www.impressholdings.com>

インプレスグループは、株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証一部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開している。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2016 年 7 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ